

令和7年度

昭島市立武蔵野小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)計画表

学校教育目標	○しっかり考える子(問題解決力) ○心やさしい子(人間関係形成力) ○つよく元気な子(体力・活力)	【目指す学校像】	○児童にとって充実した学校 ○保護者にとって信頼できる学校 ○教職員にとって働きがいのある学
		【目指す児童・生徒像】	○思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども○感性あふれる豊かな心をもつ子ども ○すすんで心と体を鍛
		【目指す教師像】	○ありのままの児童を受け止め、個性を發揮させる教師 ○授業で勝負できる教師 ○家庭・地域との相互理解

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価		
確かな学力	○基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。	○よく見て、よく聞き、よく考える力を培い、思考力・判断力・表現力を身に付けた子供の育成。	○日々の定期テストや学力テストを実施し、年度始めと年度末のその結果や変化を分析する。	4 全教員が指導改善を図る。	4	4 学期末の成績で12学級以上で学力の向上がみられる。						
				3 80%～100%未満の教員が指導改善を図る。	3	3 学期末の成績で9～11学級で学力の向上がみられる。						
				2 70%～80%未満の教員が指導改善を図る。	2	2 学期末の成績で6～8学級で学力の向上がみられる。						
				1 70%未満の教員が指導改善を図る。	1	1 学期末の成績で5学級以下で学力の向上がみられる。						
				4 全教員が教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	4	4 90%以上の児童がICT操作能力を身に付けている。						
				3 80%～100%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	3	3 80%～90%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。						
		○ICTを活用した授業を充実させ、児童の「情報活用能力」の育成を図る。	○各学年で昭島市から示されている「子供たちに身に付けさせたいICT操作能力」を把握する。	○各学年で昭島市から示されている「子供たちに身に付けさせたいICT操作能力」を把握する。	4 全教員が教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	4	4 90%以上の児童がICT操作能力を身に付けている。					
					3 80%～100%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	3	3 80%～90%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。					
					2 70%～80%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	2	2 70%～80%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。					
					1 70%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	1	1 70%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。					
					4 各学級で図書室を月4回以上使用した。	4	4 90%以上の児童が2週に1度以上図書室を利用している。					
					3 各学級で図書室を月3回以上使用した。	3	3 80%～90%未満の児童が2週に1度以上図書室を利用している。					
豊かな心	○相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる豊かな心を育成する。	○児童の自己肯定感を高め、常に相手のことを考え行動することができるようにする。	○学級の実態に応じた指導し、HQU調査を年2回実施し、結果を分析する。	4 全教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。	4	4 2回目の結果で12学級以上で学級満足群の向上がみられる。						
				3 80～100%の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。	3	3 2回目の結果で9～11学級で学級満足群の向上がみられる。						
				2 70%～80%未満の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。	2	2 2回目の結果で6～8学級で学級満足群の向上がみられる。						
				1 70%未満の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。	1	1 2回目の結果で5学級以下で学級満足群の向上がみられる。						
				4 すべての教員がたてわり班活動後の振り返りの実施を確認した。	4	4 たてわり班活動後の振り返りから肯定的振り返りが90%以上						
				3 70%～100%の教員がたてわり班活動後の振り返りの実施を確認した。	3	3 たてわり班活動後の振り返りから肯定的振り返りが70%以上						
		○たてわり班活動の充実を図り、異学年交流を通して、相手意識を深めるとともに自己有用感を高める。	たてわり班活動後に6年生を中心に振り返りを行い、みんなが楽しんで取り組めたかどうかを毎時間確認し、分析する。	たてわり班活動後に6年生を中心に振り返りを行い、みんなが楽しんで取り組めたかどうかを毎時間確認し、分析する。	4 40%未満の教員がたてわり班活動後の振り返りの実施を確認した。	4	4 たてわり班活動後の振り返りから肯定的振り返りが90%以上					
					3 全教員がいじめの克服に対する共通理解に関する項目を把握し指導を行った。	4	4 学校生活アンケート調査の関連項目から90%以上					
					3 80%～100%未満の教員がいじめの克服に対する共通理解に関する項目を把握し指導を行った。	3	3 学校生活アンケート調査の関連項目から70%以上					
					2 70%～80%未満の教員がいじめの克服に対する共通理解に関する項目を把握し指導を行った。	2	2 学校生活アンケート調査の関連項目から50%以上					
					1 70%未満の教員がいじめの克服に対する共通理解に関する項目を把握し指導を行った。	1	1 学校生活アンケート調査の関連項目から30%以上					
					4 全教員が計画を活用した指導を行った	4	4 調査結果が昨年比平均ポイントから+2ポイント以上					
健やかな体	○自分の心と体の健康に関心をもち、基礎的な体力と心身の育成と向上を図る。	○児童体力・運動能力、生活運動習慣の向上に向け、運動の習慣化を図り、体力の向上を推進する。	○体力向上プロジェクトや短なわや長なわの取組を実施し、運動することの楽しさやよさを味わわせる。	4 全教員が計画を活用した指導を行った	4	4 調査結果が昨年比平均ポイントから+2ポイント以上						
				3 80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った	3	3 調査結果が昨年比～+2ポイント						
				2 70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った	2	2 調査結果が昨年比-2ポイント以内						
				1 70%未満の教員が計画を活用した指導を行った	1	1 調査結果が昨年比-2ポイント以下						
				4 全教員が計画的な指導を実施した	4	4 90%以上の児童が目標を達成している						
				3 80%から100%未満の教員が計画的に指導した	3	3 80%～90%未満の児童が目標を達成している						
		○規則正しい生活と健康・安全に留意できる児童の姿を目指す。	○毎学期実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、その結果を集計・分析し、日々の指導改善に努める。	○毎学期実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、その結果を集計・分析し、日々の指導改善に努める。	4 70%から80%の教員が計画的に指導した	4	4 70%～80%未満の児童が目標を達成している					
					3 70%未満の教員が計画的に指導した	3	3 70%未満の児童が目標を達成している					
					4 全教員が食育の指導及びアンケート調査を行った。	4	4 90%以上の児童が食の大切さを実感している。					
					3 80%～100%未満の教員が食育の指導及びアンケート調査を行った。	3	3 80%～90%未満の児童が食の大切さを実感している。					
					2 70%～80%未満の教員が食育の指導及びアンケート調査を行った。	2	2 70%～80%未満の児童が食の大切さを実感している。					
					1 70%未満の教員が食育の指導及びアンケート調査を行った。	1	1 70%未満の児童が食の大切さを実感している。					
輝く未来	○子供たちが自立し、未来社会を切り開くための資質能力を身に付け、多様な人との関わりの中でコミュニケーション能力の育成を図る。	○幼保・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。	○幼保小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4 全教員が方策を実施した	4	4 90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。						
				3 80%～100%未満の教員が方策を実施した	3	3 80%～90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。						
				2 70%～80%未満の教員が方策を実施した	2	2 70%～80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。						
				1 70%未満の教員が方策を実施した	1	1 70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。						
				4 全学年の教員が交流体験を実施した	4	4 全学年で外部人材を活用した授業を行った。						
				3 80%～100%未満の学年・教員が交流体験を実施した	3	3 9学級以上で外部人材を活用した授業を行った。						
		○教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。	○文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	○文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	4 70%～80%未満の学年・教員が交流体験を実施した	4	4 6学級以上で外部人材を活用した授業を行った。					
					3 70%未満の学年・教員が交流体験を実施した	3	3 4学級以上で外部人材を活用した授業を行った。					
					4 各行事の実施を受け、すべての行事でアンケートを実施した。	4	4 80%以上の保護者が教育活動への理解を示している。					
					3 各行事の実施を受け、7割程度の行事でアンケートを実施した。	3	3 50%以上の保護者が教育活動への理解を示している。					
					2 各行事の実施を受け、3割程度の行事でアンケートを実施した。	2	2 20%以上の保護者が教育活動への理解を示している。					
					1 各行事の実施を受け、1割程度の行事でアンケートを実施した。	1	1 20%未満の保護者が教育活動への理解を示している。					

